



勝部の火まつり



守山の冬の夜空が真っ赤に染まる 松明組の若衆、勇壮に

神聖な神事や松明組の若衆による太鼓を担いでの町内の練り歩きなどの後、大蛇の胴体をかたどった12基の大松明が一斉に点火。荒々しい炎が冬の夜空を真っ赤に染め、ふんどし姿の若衆が「ごうよ」「ひょうよ」と声をあげながら勇壮に乱舞する姿が見られました。この様子は、守山小学校のライブビューイングでも公開されました。

1月11日 | 勝部神社(勝部一丁目)

浮気の火まつり



古式を残す儼かな儀式 一転、燃え盛る大松明の炎

800年の歴史をもち、滋賀県選択無形民俗文化財である奇祭が今年も開催されました。龍(大蛇)の頭部が飛んでいったとされる住吉神社では、古式にのっとり、知新連中の若衆が羽織袴の正装で儼かな儀式に臨んだ後、ふんどし姿で龍(大蛇)の頭に見立てたダイコク(飾り)を乗せた大松明2基に奉火して無病息災を願いました。

1月11日 | 住吉神社(浮気町)

第55回 MORIYAMA NEW YEAR 駅伝大会



青空のもと、新しい年の幕開けを祝して 約1,000人がタスキをつなぐ

守山の新春を彩る大会に、114チーム、約1,000人が参加しました。もーりー、キャプフィーが見守る中、二十歳のつどい実行委員の号砲でスタート。3km(小学生は1.6km)のコースを走り、懸命にタスキをつなぎました。参加したランナーは「順位に関係なく、チームでタスキをつなぎきれたことがうれしい」と話していました。

1月13日 | 市民運動公園と周辺

令和7年 守山市二十歳のつどい



大人としての決意を新たに 振り袖やスーツで式典に臨む

令和6年度に二十歳を迎える962人(令和6年12月1日現在)を対象に開催されました。式典では、若松 照子さんが「守山で培った経験を糧に、未来に向けた歩みを進めていく」と二十歳の決意を述べました。参加者は、つどいの実行委員が企画した祝う会や、久しぶりに集った仲間との思い出話を花を咲かせていました。

1月13日 | 市民ホール 大ホール

広報もりやまは
右記施設に設置

市役所、各地区会館、JR守山駅(駅前総合案内所)、市立図書館、すこやかセンター、市内金融機関、市内郵便局、市内平和堂各店とアルプラザ栗東、丸善守山店、市内セブンイレブンなど

スマートフォンでも
広報が読めます



「マチイロ」アプリを
インストール



「Sidebooks」アプリを
インストールし、
「ちいき本棚」を選択



※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市は責任を負いません。

守山ニュース 「守山ニュース」びわ湖放送 毎月第1・3金曜日放送中

- 広報誌で守山の魅力を発信! モリヤマジュニアリポーター
2月7日(金)午後8時20分~8時25分
- 広報誌で守山の魅力を発信! モリヤマジュニアリポーター(再放送)
2月21日(金)午後8時20分~8時25分



YouTube「守山市広報」で過去の放送を視聴できます